

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	民間保育所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度より実施。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度以降は、引き続き運営費の補助を行っていく。
②①に基づく取組み結果	平成26年度より実施。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	株式会社1法人	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	三橋記念館跡地に民間保育所を誘致し、保育所の整備に必要な助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の入所を希望する保護者が増加し、待機児童の解消に至っていない。また、新たな民間保育所等の誘致のニーズは高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	年度内に保育所の整備が終了し、保育所の定員が90名増加し、待機児童解消につなげることができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	待機児童数	58	45	21	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	0	51,000	金額(千円)	内容	187,039		
国支出金(千円)		45,333	20,250	改修費	137,917		
県支出金(千円)			30,750	前払賃料			
市債その他(千円)					32,000		
一般財源(千円)		5,667			17,122		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	待機児童解消のため、その推移を検証し、保育施設の整備を行っていく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	民間保育所の整備	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	民間保育所を整備し、定員90名の拡大を図った。	22,426	51,000	当初	22,426	51,000	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			
③達成状況	完了			補正	28,574		現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			51,000
		平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	家庭的保育事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度から始まる新制度を踏まえ、既存事業の新制度への移行を円滑に進める。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	新制度の地域型保育整備助成事業において運営の支援を行う。
②①に基づく取り組み結果	新制度における小規模保育事業への移行が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	家庭的保育を実施する事業	意図(対象をどうするのか)	保育を必要とする児童が入所できる環境を整備する。
②事務事業の概要	保育士または保育士と同等以上の知識・経験を有する保育者が、事業者の確保した施設で保育を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育需要が高まるなか、待機児童の問題は喫緊の課題である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	新鎌ヶ谷地区に定員19名の施設を新設した。また、新制度の小規模保育事業への移行が完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	家庭的保育利用者数	8	32	46	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	61,084	81,374	金額(千円)	内容	0		
国支出金(千円)		27,276	81,374	委託料			
県支出金(千円)	18,346	18,627					
市債その他(千円)	4,144	24,663					
一般財源(千円)	38,594	10,808					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新制度における小規模保育事業への移行が完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	家庭的保育の実施	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	家庭的保育を実施し、定員の拡大を図った。	81,375	81,375	当初	81,375	81,374	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由		平成27年度への繰越額					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域型保育整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度より実施	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度以降は、引き続き運営費の補助を行っていく。
②①に基づく取組み結果	平成26年度より実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	株式会社2法人 学校法人1法人	意図(対象をどうするのか)	安定運営により子育て支援を行う。
②事務事業の概要	認可外保育施設2施設の小規模保育事業への移行のため、整備等の助成を行う。また、小規模保育事業1施設を公募により設置するため、整備等の助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	保育所等の入所を希望する保護者が増加し、待機児童の解消に至っていない。また、新たな民間保育所等の誘致のニーズは高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	年度内に小規模保育事業の3施設の整備が終了し、定員57名(1施設あたり定員19名)増加し、待機児童解消につなげることができた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i 待機児童数	58	45	21	人	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	0	28,598	金額(千円)	内容	210,156	
国支出金(千円)			28,598	改修費	95,357	
県支出金(千円)		24,658			43,841	
市債その他(千円)					30,000	
一般財源(千円)		3,940			40,958	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	待機児童解消のため、その推移を検証し、保育施設の整備を行っていく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	小規模保育事業の整備	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	小規模保育事業を整備し、定員57名の拡大を図った。	29,807	29,807	当初	28,598	H25からの繰越	
				H25⇒26繰越			
③達成状況	完了			補正	29,807	現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当		28,598	
		平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市立保育園の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	2	4	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	幼児保育課			
施策	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価の評価で掲げた内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行う。
②①に基づく取組み結果	民間委託は行わず、現行どおり市直営の運営方法とし、保育サービスのあり方や費用対効果も含め、引き続き検討を行うこととした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公立保育園	意図(対象をどうするのか)	安全で安心な保育環境の維持及び拡大を図る。
②事務事業の概要	市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	入園希望児童数は増加傾向にあるとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	効率的な管理運営方法について、費用対効果も含め、引き続き検討を行った。(詳細は別添参考資料のとおり)						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	待機児童数		58	45	21	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	317,548	349,052	金額(千円)	内容	360,648		
国支出金(千円)		3,660	178,598	賃金	9,846		
県支出金(千円)	17,816	15,140	67,637	委託料	9,846		
市債その他(千円)	145,740	180,302			160,976		
一般財源(千円)	153,992	149,950			179,980		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保育需要の増大から、積極的な入所を働きかけ、待機児童の解消を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市立保育園の効率的な管理運営方法については、絶えず検討する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H25からの繰越		
		H25→26繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成27年度への繰越額					